



Title	デザイン理論 72号 目次
Author(s)	
Citation	デザイン理論. 2018, 72
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/70559
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

2017年度 意匠学会賞選考結果報告
2017年度 意匠学会論文賞選考結果報告

面矢慎介 1
面矢慎介 2

論文

中平康 『狂った果実』再考	安部孝典	5
外客誘致の宣伝戦略 — 里見宗次《JAPAN》ポスターの制作背景に関する考察 —	熊倉一紗	19
新商品開発における開発目標の質と設定に至るプロセスとの関係 — 検証実験および発話解析による分析 —	畔柳加奈子 櫛勝彦	33
オランダの19世紀から20世紀にかけての漁家・農家住宅の構法について — エンクハウゼン・ゾイデルゼー博物館、オランダ屋外博物館の 移築・復元住宅を資料として —	佐々木一泰	49
蒔絵師・迎田秋悦の制作活動と宮崎タンス店の関係性について — 明治末から昭和初期の動向を中心に —	下出茉莉	65
近代日本のデザインとジェンダー — 手作りインテリアの意味をめぐる考察 —	神野由紀	79
クリストファー・ドレッサーの装飾デザインにみる色彩論の展開	竹内有子	95

研究発表要旨

第231回 意匠学会研究例会 2017年9月30日 京都工芸繊維大学

戦後日本における屋根壁連続建築の発展についての研究 李海寧 110

第232回 意匠学会研究例会 2017年11月18日 大阪工業大学

丸紅商店染織美術研究会に関する研究
— 近代京都の図案教育に関する追跡調査 I — 岡達也 112

オランダの漁家・農家住宅の構法と意匠の関係について — エンクハウゼン・ゾイデルゼー博物館、オランダ屋外博物館の 民家博物館の移築・復元住宅を資料として —	佐々木一泰 114
大量生産の時代における手作りのデザインとジェンダー — 手作りインテリアの意味をめぐる考察 —	神野由紀 116
第233回 意匠学会研究例会 2018年2月17日 京都女子大学	
大阪万博アメリカ館と QUILT — 日本におけるキルトの受容 —	片桐真佐子 118
近現代讃岐漆芸における意匠表現の革新 — 文化財保護法及び日本伝統工芸展の影響 —	佐々木千嘉 120
蒔絵の琳派意匠についての考察 — 売立目録を中心に —	矢野節子 122

書評

並木誠士著 『日本絵画の転換点 酒飯論絵巻 — 「絵巻」の時代から「風俗画」の時代へ』	多田羅多起子 124
針貝綾著 『ユーゲントシュテイルからドイツ工作連盟へ — 世紀転換期ドイツの美術工芸工房と教育』	天貝義教 126
大阪大学美学研究室編 『a + a 美学研究 11 — デザインへの視点』	伊原久裕 128

欧文要旨	132
入会申込書 発表申込書	140
投稿規程 執筆要領 投稿票	142
会報 83号	145